

喜界町

花良治集落

団体の紹介・活動の目的

喜界島は奄美大島の横にある周囲48.6kmの小さな島です。その島の南部に位置する花良治集落は世帯数58世帯、集落人口95人の集落で幻のみかんと言われる花良治みかんが有名です。

当集落では、集落内の空き家を改修した宿泊施設を自主運営し、その宿泊施設「しまぐらしハウス」を集落内外の交流拠点として活用し集落活性化を図っています。高齢化や人口減少の進展などにより、集落の活力の維持や伝統行事の継承に課題があるなか、この施設を核として、ツアーなど様々な活動を積極的に行い、集落内外の交流機会と雇用や利益を生み出すことで、地域活性化につなげ、持続可能な集落運営を目指して活動しています。

活動の内容

役場や喜界島観光物産協会などと連携して、しまぐらしハウスを活用した移住体験ツアーの受入や移住希望者の宿泊先などとして活用しています。また、希望があれば商工会や農家等への移住相談が出来る体制づくりや、島外者を迎え入れたさいは集落民や近隣集落民も含めた交流会（宿泊オプション）なども実施し、花良治集落を中心に来島者と島民を結ぶ交流場所として活動し、過去に2名の移住に繋がりました。

今後も、島外者と島内者を結ぶ集落として島内の関係団体と連携しながら宿泊施設を中心とした集落活性化を目指します。

連携・協力している団体など

喜界町、商工会、喜界島観光物産協会、奄美群島広域事務組合、近隣集落、長寿会、子ども会など

①



「しまぐらしハウス立ち上げ会議」

集落内の空き家を見つけるところから改修までを集落民や関係各所と行い、しまぐらしハウスができました。写真は集落民・空き家アドバイザー・観光物産協会・役場を交えて今後の運営や移住体験ツアーの行程を検討している風景です。

②



「花良治集落しま遊び(豊年祭)」

集落だけで行われていた伝統行事「しま遊び」に、数年前から舞台を設置して集落外の演者や子供達の発表の場として活用し、普段見られない演芸に高齢者からも好評です。

③



「宿泊者と地域を繋ぐ交流会」

宿泊者からの希望を受けて、花良治集落の公民館(生活館)で懇親会を開催します。喜界島の黒糖焼酎や幻の花良治みかん、島の食材などを持ち合いながら様々な話が飛び交う、ひとときです。

④



「しまぐらしハウス」

しまぐらしハウスの外観は白を基調としています。内装や活動についてはしまぐらしハウスのHP、Facebookから確認できます。



しまぐらしハウスHP



しまぐらしハウスFacebook